

世界ニホンザルの日

Celebrate World Japanese Macaque Day on December 3!

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。
これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします!



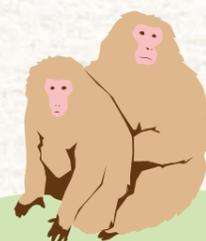
写真: 団十郎様撮影、小豆島銚子溪 自然動物園 お猿の国提供

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします。ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。生態や社会から医学まで、霊長類学に多くの知見をもたらしてきました。絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。「世界ニホンザルの日」を、このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や飼育下の福祉向上について考える日にしましょう。

小豆島では寒霞溪で1954年に、銚子溪で1956年に餌付けが始まり、当時から大きなサル団子をつくるなど寛容性の高さが注目されていました。銚子溪では今も「お猿の国」でサルを観察することができます。そこで2023年のポスターは銚子溪の写真をお借りして制作しました。



関連イベントなどは
Webサイトをご覧ください <https://bit.ly/WJMD>
関連イベント、ポスター掲載レポート募集中!



世界ニホンザルの日 2023実施事務局
日本モンキーセンター JAPAN MONKEY CENTRE
愛知県犬山市犬山官林26
TEL 0568-61-2327